

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・地元ケーブルテレビで取上げられ、宣伝効果が出てきている。今後、役所の人事異動等で飲み会のニーズが出てくることも予想されることから、先行きに期待できる。
		コンビニ（経営者）	・昨年と同じか、それ以上に暑くなる見込みなので、冷麺等の売行きが伸びると予想される。
	やや良くなる	衣料品専門店（営業・販売）	・買い控えていた客が戻ってきていることから、先行きに期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・買得車による客へのアピールで、代替購入が望めそうである。
		住関連専門店（経営者）	・まだ実需には結びついていないが、見積の依頼件数が最近徐々に増えつつあり、先行きに期待できる。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・GW中の内需拡大につながる国内消費の底入れや、在阪人気球団の好調による盛り上がりにより、今後に期待できる。
		観光型旅館（経営者）	・海外旅行を控え、国内旅行に出向く客が増えると予想している。
		観光型旅館（経営者）	・予約の問い合わせの数が昨年より増えている。
		都市型ホテル（経営者）	・現在の予約状況からみると、宿泊稼働、宴会利用は7月頃にはやや持ち直しそうである。宴会場のリニューアル効果による婚礼組数の増加や、企業の研修の受注による長期宿泊客の増加が寄与することになりそうである。
		旅行代理店（店長）	・先行受注は、国内外とも、よく入りだしている。
		旅行代理店（広報担当）	・申込状況は少し戻ってきている。6～9月の夏休みにかけての申込が、少しずつ良くなってきている。
		通信会社（経営者）	・新年度の予算で、新たな投資が見込まれている。
		通信会社（社員）	・新機種がボーナスシーズンに向けて用意されていることから、先行きに期待できる。
		競輪場（職員）	・土日開催という要因を考慮しても、グレード制の開催により、来客数の増加が期待できる。
		美容室（店員）	・内部の商品開発が進められていることから、先行きに期待できる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅ローン減税の駆け込み需要と、相続時精算課税制度の特例による潜在需要の喚起効果の期待から、現状より良くなると予想している。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・超低金利と優遇税制によって住宅購入環境が整っているなか、不動産各社の供給調整が進んでいるため、しばらくは需給バランスがとれたマーケット推移が期待できる。		
変わらない	一般小売店（経営者）	・SARSの影響が様々な業種へ徐々に出てくる。需要は冷え込む状況が続く。	
	百貨店（売場主任）	・季節商品の売上が減少傾向にあり、景気が上向くとは考えにくい。海外旅行の減少など、旅行等の消費が商品の消費へ変ればと期待している。	
	百貨店（売場主任）	・7月のクリアランスは上向く予想であるが、現状からは大きな変化はみられない。	
	百貨店（売場主任）	・百貨店の主力商品である婦人服に回復の兆しがみられず、今後の売上回復は期待が持てない。 ・イラク戦争による海外旅行の中止で、国内での高額品や輸入商品などへの消費のシフトを期待したが、ゴールデンウィーク前半では効果は全くみられないことから、厳しい現状が続く。	
	百貨店（売場主任）	・販売の後倒しによる好転は期待できない。すでにクリアランス時期を見据えての品揃えの強化が必要になっている。	
	百貨店（企画担当）	・美術や宝飾といった高額商品の動きも悪く、株価の低迷等もあって当分苦戦が続く。	
	百貨店（売場担当）	・爆発的ヒット商品がないことから、上向くとは思えない。百貨店で買物をする事による付加価値を提示できなければ、現状のまま変わらない。	
	スーパー（店長）	・需要が回復しても、出店の増加で供給も増え、厳しい競争が続く。	
	スーパー（経理担当）	・ゴールデンウィークが大型連休にならず、SARSの影響もあって近場のレジャーが増えると予想されるが、これは短期的プラス要因となっても、本格的回復の材料にはならない。	

家電量販店（企画担当）	・何もしなければ、売上は下がるという一方で、何かイベントを開催すればそれなりに確保できるが、消費が上向きにはまだ時間がかかる。
家電量販店（営業担当）	・現状と同じ状態が続いているが、客の商品購入数が伸びないので、客単価も伸びない。現状を打開する要素がなく、エアコン等の季節商品に期待するしかないが、現状は壊れてから買うという状況が続いており、見通しは厳しい。
乗用車販売店（経営者）	・低料金の修理が多く、高額になると修理をしないため、売上は上がらない。今後も厳しい状況が続く。
乗用車販売店（経営者）	・SARS、日米の景気悪化など悪条件が重なりすぎていることから、厳しい現状が続く。
一般レストラン（スタッフ）	・SARSの国内感染の報告がなされたら、景気にさらに悪影響を与えることが懸念される。
観光型ホテル（経営者）	・先の予約状況をもて、今までより良くなる兆候はみられず、より悪い結果になるのではないかと不安が感じられる状況である。
観光型旅館（団体役員）	・イラク戦争、SARS問題など、国内外旅行業界に与える影響は大きく、先行き不透明の状況のもとで予測が立ちにくい。
タクシー運転手	・規制緩和による運賃競争はますます泥沼化しており、規制緩和後2度目の割引運賃の導入に踏み出さざるを得ない状況にあり、営業収入が減少するのは避けられない。今後も厳しい状況が続く。
タクシー運転手	・梅雨時は乗車率も伸びるが、最近の状況を見ると、現状と変わらないと予想される。
観光名所（経理担当）	・海外旅行のキャンセル分に期待しているが、1日滞在型の施設ではないため、客が大きく増えることはない。
その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ホール自体の予約状況の先行きは良いが、未決定のものもある。SARSについては、今後の外国タレントの催事に影響を与える懸念材料であると考えている。
その他レジャー施設 (企画担当)	・国内レジャー施設には追い風といえる状況だが、本質的な好材料はないため、現状のまま推移すると思われる。
その他レジャー施設 [球場] (企画担当)	・在阪球団の公式戦は例年通りスケジュールに入っているものの、その他のコンサートや企業イベントなどが比較的少なく、来場者の増加があまり期待できないことから、厳しい現状が続く。
住宅販売会社（従業員）	・戦争も終わり、景気が上向くと思われたが、SARSによる消費動向への影響が必至である。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・お祝いの進物に割引セールの商品を買う客が多くなった。夏に向かって低価格商品を求める客が増えるので、厳しい。
百貨店（売場主任）	・中国製品の多いアパレル業界では、今後SARSの悪影響が大きく出てくると予想される。
百貨店（営業担当）	・海外旅行をやめて国内消費に向かうと思われたが、ブランド品も含め、消費に回らない。唯一、家具を中心としたリビング品の売行きは伸びると予想されるが、先行きの見通しは厳しい。
スーパー（店長）	・イラク戦争後の処理問題や、SARS問題など不安要因が多すぎる。このような情勢で株価の回復も全く見込めず、悪化の方向に向かっていることから、先行きが懸念される。
コンビニ（経営者）	・増税、株価低迷、SARS流行と明るいニュースもなく、外出する気さえ削ぐ閉塞感が漂っていることから、見通しは厳しい。
コンビニ（経営者）	・コンビニ業界全体が売上の前年割れを続けており、様々な新サービスも直接的には売上増になかなかつながらないことから、先行きには期待できない。
衣料品専門店（経営者）	・夏物衣料にお金をかけない傾向が2～3年前から続いている。4月でこの状況では、夏場は厳しい。
家電量販店（店長）	・DVD、PDP、大型液晶などの新商品が貢献しているものの、買い替え商品はサイクルが長くなっており、先行きの見通しは厳しい。
乗用車販売店（経営者）	・株価の下落、SARSなど、マイナス要因ばかりが目立つことから、先行きの見通しは厳しい。
乗用車販売店（経営者）	・テロやSARSなどの不安から世界市場が低迷しているが、間接的に業界にも影響が出てくる。今後2～3か月は良くならない。
乗用車販売店（営業担当）	・昨年の4月と比べると3分の1の販売数であることから、先行きの見通しは厳しい。

		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・同業他社の出店が相次ぎ、競争も厳しくなっている。
		一般レストラン（経営者）	・物価、土地価格の下落、SARS問題等、先行き不安要素が多すぎる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響が懸念される。5月の連休でも海外への旅行を取りやめて、国内に振り替わるかと期待していたが、国内旅行の動きも悪いなど、全体的に先の宿泊の予約状況が非常に悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約が滞っている。イラク戦争での先行き不透明感や業績悪化を理由に、受注済み宴会がキャンセルされたり、毎年利用のある客が経費削減で会合を中止するという動きもみられる。さらにSARS問題で観光客のキャンセルが続き、予約が全くない状態に陥っている。
		通信会社（経営者）	・将来の景気について具体的な事由は見当たらないが、戦争があり、SARSが流行するなど、悪くなることを予感させる事柄が多い。
		通信会社（社員）	・広範囲なエリア拡張に伴う多大な投資と、利用料の見直しによる収支の悪化が懸念される。
		ゴルフ場（経営者）	・これまでは、海外旅行が減少するとゴルフ場に好影響がみられたが、昨年からはそのような影響は出てこない。このことから、先行きの見通しは暗い。
		ゴルフ場（経営者）	・単価に下げ止まり感がなく、安い物を探せばいくらでもある状況なので、予約があっても二股をかけられ、キャンセルされる状態であることから、先行きの見通しは厳しい。
		美容室（経営者）	・大手スーパーが閉店して半年が過ぎ、やっと落ち着いてきているが、先行きの見通しは厳しい。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・学習意欲が低下してきた上に、通塾には経済的な負担がかかるので、今後もそれほど期待できない。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・7月頃は衣料はもとより、寝具や小物に至るまでの春物関連の品物の集荷は、ほぼ終わりとなっているため、とくにプラスチック材料がない限りは、厳しい状況が予想される。
	悪くなる	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・イラク戦争、株価の暴落、SARSの恐怖が消費者マインドを冷やしていることから、先行きの見通しは厳しい。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊、宴会予約状況は、イラク戦争、SARS問題も影響して芳しくないことから、先行きの見通しは厳しい。
		旅行代理店（営業担当）	・外的要因による影響が強く、客の出足を鈍らせている。夏にピークを迎える需要に関しては、先行予約が低迷し、6～8月に向けての予約状況は、前年同月比で60%台しか確保ができていない。
		旅行代理店（営業担当）	・SARSの影響が日本国内に拡大すると、旅行需要は完全に冷え込み、倒産するエージェントが続出する可能性が大きい。危機的な状況も想定される。
企業動向関連	良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新規事業に取り組み出したが、パチンコ業界、病院その他の販売施設から前向きな問い合わせが多く、新規事業に対する注目が集まっていることから、先行きに期待できる。
	やや良くなる	広告代理店（従業員）	・大型ホームセンター、量販店の出店が盛んなため、出店に伴う広告宣伝費の増加が見込まれる。
	変わらない	化学工業（経営者）	・発注の小ロット多品種化がますます進んでおり、コスト削減に限界が見え始めているが、得意先の値引き依頼は依然として強く、良くなる要因が見当たらない。
		化学工業（経営者）	・イラク、SARSと景気の不安要素が多く、消費者の購買意欲は上がらない。
		建設業（社員）	・新しい不動産投資システムが構築されつつあるが、景気全体の底上げ感が感じられず、不動産への投資は引き続き低調であると予想される。
		輸送業（営業担当）	・客からの価格引下げの要請も一段落し、受注量も低位ながら安定しつつあるが、この現状が上向いてくるといいう勢いは感じられない。
		輸送業（営業所長）	・輸入貨物は、SARSの影響で香港便の飛行機が減便しているが、状況がすぐに良くなる兆候はみられない。
		不動産業（経営者）	・現在、住宅における空室率は安定しており、大きく悪くなることはないが、良くなることも考えにくい。
		不動産業（経営者）	・投資物件の購入意欲はおう盛であるが、銀行融資の姿勢が慎重で、価格が抑えられがちであることから、厳しい現状が続く。
		広告代理店（営業担当）	・取引先の中小企業で今年度の予算がかなり減らされていることから、先行きが懸念される。

		その他非製造業 [衣服卸] (経営者)	・小売においては、売価低下や競争激化が広まる傾向で、回復材料に乏しい。SARSの心理的悪影響も悪い方向に作用していくことが懸念される。
やや悪くなる		食料品製造業 (従業員)	・SARS関連では、原料に関する問い合わせがあるなど、この問題が深刻化すると大変なことになる。
		繊維工業 (経営者)	・展示会での売上が主であるが、その肝心の催事が減っている。経費が負担になって、催事もできない状況である。
		化学工業 (経営者)	・中国市場の動きにより、日系進出企業の状況が悪くなっている。今のところ、それが良くなるニュースが伝わってこない。
		金属製品製造業 (経営者)	・SARSの影響で、アジア向け輸出を含む荷動きが一層悪くなるのではと懸念している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・SARSの影響は、当社にとって、イラク戦争よりも直接的である。海外出張が自由にできなければ、確実に受注が延期される。5月中の商談は順調にはいかず、経済活動はここ数か月は停滞すると予想される。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・航空機の需要がすぐには回復しないことから、先行きの見通しは厳しい。
		建設業 (経営者)	・地元の建設業界の先行きに明るい話題もなく、今以上に全体工事量の縮小が予想される。官庁関係は縮小傾向にあり、民間ではより厳しい価格競争になる。
		金融業 (支店長)	・株価低迷の影響で先行きが懸念される。SARSの影響が今後注視される。
		経営コンサルタント	・SARSが日本の景気にどう影響するかという不安から、先行きの見通しは厳しい。
		コピーサービス業 (従業員)	・イラク戦争による復興支援金の負担、SARSによる旅行業界への打撃及びそれらに起因する株価の世界的な下落等、回復の目途が立たない状況である。
悪くなる		不動産業 (営業担当)	・賃貸マンションへの入居者の年収が下がってきていることから、先行きが懸念される。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	民間職業紹介機関 (支社長)	・昨年の春に比べ、企業の採用意欲は間違いなく上昇していることから、先行きに期待できる。
	変わらない	職業安定所 (職員)	・企業の倒産件数及び負債額は、前年比、前年同月比とも減少し、大口倒産もなかったが、倒産の要因は不況型が8~9割を占め、厳しい状況が続いていることから、先行きの見通しは今後も厳しい。
		職業安定所 (職員)	・有効求人倍率は増加傾向にあるが、大企業の雇用調整、希望退職者の募集が目立ってきている。今後も全体としては変わらない。
		職業安定所 (職員)	・雇用関連の数値は改善されつつあるものの、就職件数は対前年比で減少となるなど、ミスマッチの傾向が依然残ると予想されることから、厳しい現状が続く。
		民間職業紹介機関 (職員)	・建設工事の工程上で、工事量や求人数の先行指標となる鉄筋工の求人がそれほど目立たないことから、現状のまま推移する。
		学校 [大学] (就職担当)	・大手企業の採用動向は、前年度に比べ、1週間ほど早く内定を出している企業と、時間をかけて選考している企業との二極化がみられる。新卒についても、質重視の採用が徹底されている。
やや悪くなる	人材派遣会社 (経営者)	・戦争後の復興資金負担とSARSが世界経済に与えるマイナスの影響が浸透していくことから、先行きが懸念される。	
	人材派遣会社 (経営者)	・企業の資金繰りが悪くなっており、特にIT業界においては倒産や支払い期限を伸ばして欲しいという会社が増えている。この様子から、先行きの見通しは厳しいと考えている。	
悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・戦争の余波が続き、SARSの影響もしばらく続くと思われる。とても良くなりそうには思えない。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	・最近の広告料金は定価があっけないようなもので、受注するためには、最初から思い切った低価格を提示しなければならなくなってきた。先行きの見通しは非常に厳しい。	